

第4回「蕨の会」氷川神社-大宮公園界限散策！（2014年4月5日）

「地元を知ろう！埼玉を知ろう！」と、最寄駅が JR 蕨駅の成澤文和（4組、さいたま市）君と関賢治（2、蕨市）が1年半前に旗揚げした「蕨の会」も今回で4回目となった。

今回は大宮氷川神社が散歩コースの上原昇（2、さいたま市）君のアレンジで氷川神社及び大宮公園界限の散策である。何故か地元を知り尽くしている上原君が大宮観光ボランティアガイド会にガイドを依頼してあった。ガイド会の織本氏以下4名（内研修2名）が待機する中、蕨の会会長の成澤君、県外から参加で常連の中山正光（11）君・小宮山豊（2）君、2月に退職しまだ濡れ落葉にはなりたくない川越市から初参加の神宮進（10）君、アレンジャーの上原君、チョット遅れて関（2）の6名の散策参加者が JR さいたま新都心駅に集合した。

大宮操車場跡地が「さいたまスーパーアリーナ」や政府機関合同庁舎等に、岡谷市発祥の片倉製糸工場跡地がショッピングモール「コクーン」に、さいたま新都心駅周辺が変貌した歴史からガイドのスタートとなった。

旧中山道と別れた位置にある「一の鳥居」から境内入口の「三の鳥居」までの日本一長い参道（18丁：約2km）を、所々にある石碑の説明、松並木から杉並木、現在の櫟並木に面変わりした経過等の説明を聞きながら、最近パワースポットとしても有名な全国に280余の氷川神社の総本社「武蔵国一宮 氷川神社」の境内に到着する。すると、朱塗りの楼門から神主かと思わせる雰囲気で大野正廣（3、上尾市）君が登場する。第3回蕨の会での話題の主である。

氷川神社は杵築大社（出雲大社）を写したとの故事やら 数奇な祭神の経緯に耳を傾け、参拝後氷川神社を後にし 隣接のさくら名所百選の地「大宮公園」へと足を向ける。

長嶋茂雄が高校時代唯一ホームランを打った大宮球場の歴史や、園内の割烹旅館滞在中の正岡子規が、金が無くなり夏目漱石を呼んだ話などを聞きながら、上野公園も真っ青な大混雑の花見客の中 園内に設置してある一等水準点の説明を最後に3時間のガイドが終了となる。4名のガイドと別れ、打上げ会場の大宮駅前「比内や宮町店」へ足を向ける。

店手前の路地で田村栄治（1、志木市）君と合流。定刻に原田義則（3、鳩山町）君が到着。宮原豊（9、越谷市）君は生憎の体調不良で不参加となり9名での懇親会となった。

原田、神宮両君から2月に他界した竹田敏（10）君の追悼の報告があった。「自分の体に過信しないように！」との教訓と受け止めた。合掌

今時の人、小保方さんの論文を「料理のレシピ」に例えた原田君の話や、4月20日の蕨での第11回テニスを楽しむ会開催の報告が関よりあり。成澤会長からは、11月に予定の第5回蕨の会「秩父～長瀬1泊2日の旅」の説明がなされた。初の泊り掛けの「蕨の会」を大いに盛り上げたいと考える幹事団である。

次回秩父での集合を誓って20時前に散会となった。

第6回以降の「蕨の会」は県内に在住の同期生にアレンジャーをお願いして、地元を再発見出来ればと目論んでいます。渋沢栄一誕生の地：深谷市、蕨の町：川越市などを予定している。

（2014.4.8 関記）



ボランティアガイドの話聞く参加者

氷川神社 一の鳥居前にて
後列: 中山 関 神宮 成澤 小宮山
前列: 上原



氷川神社 拝殿・本殿前にて
後列: 小宮山 上原 関
前列: 神宮 成澤 大野 中山



大宮公園 花見客の中



懇親会にて

田村 原田 中山 成澤 上原 小宮山 大野 神宮 関